

ふれあい通信

平成28年9月号【第252号】

「ふれあい通信」は、
坂下病院ホームページでもご覧いただけます。
■ホームページアドレス <http://sakashita-hp.jp/>
■電話 0573-75-3118 ・ FAX 0573-75-2590

■編集・発行：国保坂下病院広報委員会

ふれあい健康掲示板

坂下病院の今後
についての私感

眼科 木下 慎介

こんにちは。眼科の木下です。病院の存続が危ぶまれている状況ですので、私見を述べさせていただきます。考え方は色々ありますし、立場によって現状の捉え方が異なることは、もちろん承知しております。

市の説明によると、財政上の問題で坂下病院を病院として維持することが難しいようです。具体的には、入院機能を無くし診療所にすることで運営して行く方針のようです。病院職員向けの説明会でも様々な意見が交錯しておりましたが、この方針を大きく変更することは難しいと感じました。ただ、医師である小生からすると、今回の市の方針は、中津川市の医師不足を招く引き金になる可能性が高いことをここに予言しておきます。

この点に関しては、職員向けの説明会で当院医師から指摘がありました。喫緊の課題であるにも関わらず、市の病院事業部からの回答は不十分なものであったことを付け加えておきます。

さて、今回の市の方針では、内科以外の診療科は市民病院へ集約する可能性が濃厚です。つまり、坂下病院の患者さんを市民病院で診ると言うことです。すると通院の利便性が著しく低下するのですが、小生の知る限り通院手段の確保は検討されておりません。通院手段に関しては、最初から組み込まれるべきものと思うのですが、市の病院事業部の方々の優先順位は別のところにあるようです。餅は餅屋でしょうか。しかしながら、1時間に2~3本くらいの通院バスを運行するくらいの事まで考えて欲しかったものです。

話は変わって眼科に関してですが、白内障手術を7月から手術室を複数使用して行っております。複数の手術室を使うことの利点は、手術の準備にかかる時間が劇的に短縮できますので、その分手術の件数を増やすことが可能になることです。その結果、以前は手術を受けるまで2~3か月待つて頂いていたのが、1か月以内に受けて頂くことが可能になりました。また、個人的な事なのですが、企業と共同開発した手術器具が商品になり、発売されることが決定しました。約1年、企業の方と構想を練った器具で、かなりの逸品に仕上がっておりますので、今後の普及が楽しみでありますし、微々たるものですが、医学の発展に寄与できたのではないかと考えております。

市長の最終判断が下っていない現時点では、坂下病院の今後について仔細に検討することは難しいのですが、眼科はどのような形態であっても坂下病院内に残り、運営して行く手段を考えておりますので、安心していただければと思います。

こんな症状はありませんか？ ~気になる眼の症状~

『物が二重に見える』、『ぼやけてしまって見づらい』、『視野の一部が見えない』、『痛みがある』

この他にも、少しでも眼の状態が気になる場合は、ご自分で判断をすることなく眼科をご受診ください。

「先生に症状をうまく伝えられないかも…」そんな心配は要りません。専門医である先生方が皆さんの眼の健康をしっかりとサポートいたします。

早期受診でご自分の眼のケアをしっかりと行い、“安全宣言”をしましょう！

第22回

やさか福祉健康まつり開催のお知らせ

■開催日時 平成28年10月23日(日)
午前10時00分 ~ 午後2時00分

■開催場所 坂下総合体育館 入場無料です。

毎年の恒例行事となりました『やさか福祉健康まつり』も、地域の皆様に育てていただきながら、今年で22回目の開催を迎える運びとなりました。

皆さま一人ひとりが自らの健康を意識し、今一度見つめ直していただくことができるよう「わたしも参加 健康と福祉のまちづくり」をテーマに、様々な体験コーナーを設けています。

健康の秋！多くの方が健康づくりの第一歩を踏み出せるよう、より地域に根付いた「健康と福祉の体験型イベント」にできればと考えておりますので、皆さまお誘いあわせのうえご来場ください。



★催し物のご案内

◆《健康コーナー》※無料で行っていただけます。
骨密度測定、頸動脈エコー、血管年齢チェック、認知症チェック、
体力測定、血圧チェック

※骨密度検査は、骨の強さを調べる検査です。

骨量（骨密度）が低下すると、骨の内部がスカスカになった、いわゆる「骨粗鬆症」という状態を招き、骨折のリスクが増加します。

予防への第一歩として、定期的な骨密度の測定はとても大切です。

※頸動脈は、動脈硬化が発症しやすい部位だといわれています。

頸動脈における動脈硬化の検査を行うことは、体の他の部位の動脈硬化を把握するのに有用です。

◆《屋外ステージイベント》
龍神JBバンド、パンジー健康体操、
老人クラブ連合会（民謡）
セルプひまわり（楽器演奏）、
vivi.D（ダンス）



◆《その他の催し》
呈茶席（坂下高校）、献血、足つぼ、
ハンドヒーリング、健康体操
飲食コーナーでは、五平餅や大福、
鬼饅頭などの販売もあります。

屋内外の催し物の内容は、変更となる場合があります。

現在、当院看護部の職員数は168名です。

患者さんと接する機会の多い看護職員は、「患者様の権利を尊重し、安全・安楽な看護を提供する」という理念の基、常により良い看護・介護サービスを提供できるよう心がけています。

“良いサービス”とは何かを言葉にするのはなかなか難しいのですが、患者さん一人ひとりに今何が必要なのかを患者さんの立場になって考え、優しく丁寧に接することだと考えています。

その甲斐もあって、「本当に職員の皆さんに良くしてもらった。優しくしてもらった。」という声を患者さんからいただく機会も増えてきました。

看護の現場の“要”として、患者さんやそのご家族を支えていくことは我々看護職員の役割です。

患者さんからの感謝や励ましの声は、自分たちの看護・介護が皆さんに喜んでもらえたのだという確かな実感となって、仕事への励みや遣り甲斐、そして今よりもっと質の高い看護を提供しようという向上心にも繋がっていくことでしょう。

何故なら、私たちはいつも“患者さんの笑顔”を思い描きながら仕事に臨んでいるのですから…。

反面、「患者さん中心の看護」「患者さんに寄り添う看護」を行うことは、云う程簡単な事ではないんだなあと考えさせられる局面に出会うことも度々あります。

患者さんが受けた看護・介護サービスが満足できるものでなかった場合などには、不満やお叱りの声もたくさんいただきますが、私たちはその一つ一つを真摯に受け止め、改善に取り組んでいきます。

そして、優しく頼りになる看護部として患者さんとの対話を大切にし、より良い看護を提供できるよう日々の努力を続けるとともに、地域の皆さまの支えとなることができるよう、地域包括ケアの実践をはじめとした安心・安全な医療の提供を目指していきます。

高齢者用肺炎球菌ワクチン接種はお済ですか？

当院では、高齢者用肺炎球菌ワクチンの公費助成による個別予防接種を行っています。(要予約)

公費助成によって定期接種を受けられるのは生涯に一度です。今年度対象となっている方で接種を希望される方は、お早めにご予約ください。

■お申込み・お問い合わせ先 … 坂下病院 中央処置室 ☎0573-75-3118 (内線 104)

今年度接種期間	平成28年4月1日(水)～平成29年3月31日(木)
対象者	<p>中津川市に住民登録があり、今までに高齢者用肺炎球菌の予防接種(※)を受けたことがない方。(中津川市以外の住民の皆さまは、お住いの各市町村に公費助成の有無をご確認ください。)</p> <p>1. 上記期間中に、次の年齢になる方 (平成28年度における対象者となります。)</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 65歳 / 昭和26年4月2日～昭和27年4月1日生まれ ■ 70歳 / 昭和21年4月2日～昭和22年4月1日生まれ ■ 75歳 / 昭和16年4月2日～昭和17年4月1日生まれ ■ 80歳 / 昭和11年4月2日～昭和12年4月1日生まれ ■ 85歳 / 昭和6年4月2日～昭和7年4月1日生まれ ■ 90歳 / 大正15年4月2日～昭和2年4月1日生まれ ■ 95歳 / 大正10年4月2日～大正11年4月1日生まれ ■ 100歳 / 大正5年4月2日～大正6年4月1日生まれ <p>2. 60歳から64歳までで、心臓・腎臓・呼吸器・免疫機能障害があつて身体障害者手帳1級相当の方。</p> <p>(※) 定期接種で使用する高齢者の肺炎球菌ワクチンは、ニューモバックス NP です。過去にニューモバックス NP の接種を受けたことのある方は、公費助成の対象になりません。</p>
自己負担金	3,000円 (一部公費助成後の金額)
持ち物	<p>➤ 高齢者用肺炎球菌予防接種予診票兼予防接種券</p> <p>(市役所健康医療課より、4月下旬に住居票の住所に郵送されています。)</p>
その他	<p>当院以外の実施医療機関については、市役所健康医療課までお問い合わせいただくか、市ホームページでご確認ください。予約が必要となる場合があります。</p>

【公費助成に関するお問い合わせ先】 中津川市役所 (☎ 66-1111) 健康福祉部 健康医療課



3西病棟は内科、整形外科、眼科の手術もある混合病棟です。今回はある看護師の1日をご紹介します。日勤の場合、午前8時30分の始業とともに1日が始まります。少し早めに出勤し、同僚たちに笑顔で挨拶をした後、まずは今日の受け持ち患者さんについて電子カルテから情報収集を行います。朝までの患者さんの状態を把握し、今日の検査や手術の予定、入院状況を見て一日の流れを組み立てる必要があるからです。

注射、点滴の確認も済ませ準備万端にしました！

8時45分からは夜勤者からの申し送りを受け、9時には溢れる笑顔で患者さんのところへGO！

注射や身体拭きなど、ケアをしながらの患者さんとの会話は楽しいのですが、これも大切な仕事の一つです。痛みや苦痛の訴えがあるときは、少しでも軽減できるよう処置に努める必要があるため、細かな状態観察は欠かせません。

検温と観察の結果をカルテに入力し、必要時には医師に報告して指示を貰うのですが、この日は途中で眼科の入院がありました。受け持つ患者さんのケアもこなしながら、手術の準備と点眼に駆け回るうちに、忙しさに追い打ちをかけるかの如く、各病室からナースコールが入り始めます。特に朝の時間帯はトイレ、点滴注射などのナースコールが頻回となるのです。2チームに分かれ、お互いに言葉を掛け合いながら対応をしていきます。

時間は瞬く間に過ぎ、いつもアツという間にお昼になります。休憩後、通常は13時30分からチーム内で患者さんについての情報共有を行うのですが、途中で手術室からの呼び出しがあり、患者さんを手術室へ連れて行くことになりました。

少し慌ただしくはなりますが、手術が終わるまでの時間を利用して受け持ちの患者さんの様子を窺いに行き、状態観察を行った結果をカルテに入力してしまうことになりました。

患者さんの手術は約20分ほどで終了したため、病室まで送り届けた後、そのまま引き続きオムツ交換のための病室回りをを行います。“臨機応変に効率良く”も看護に必要な大切な要素の一つなのです。

夜勤看護師への申し送りが16時30分頃から始まり、受け持ち患者さんの翌日の検査予定表を配布したり、退院の準備などを行い、17時15分に仕事は終了。

時々残業にもなり、一日一日が目まぐるしく過ぎて行きますが、これからも患者さんの安全、安楽を重視し、苦痛が軽減でき、笑顔で退院できるように援助していきます！

私たちスタッフは、一丸となって地域の皆様の健康を守っていきたくて思っております。

たまごセミナーを開催しました。

たまごセミナーとは当院の修学資金貸付制度を利用し、現在看護学校などに通う学生の皆さまを対象とした「就職前職場見学会」です。

今年度は8月18日（木）に開催し、3名の方が参加され、スライドを使った病院紹介、院内見学、体験学習などの他、お茶会として先輩看護師との交流も図り、和やかな雰囲気の中にも、先輩諸氏の言葉に熱心に耳を傾ける真剣な表情が窺えました。



このセミナーは、就職という人生の大きな節目を間近に控え、不安を抱えながらも実習や試験に追われる忙しい日々を過ごす学生の皆さまに、実際の医療現場を見て、聞いて、体験していただくことにより、当院ならびに看護師業務に関する理解を深め、不安に感じる要素があれば僅かでも払拭していただけるようにとの思いを込めて開催しています。

ご参加いただいた皆さまには、セミナーへの参加を機会として坂下病院を少しでも身近に感じていただけたのであれば幸いです。

朗読と音楽を楽しむ会を開催しました。

7月13日（水）、市立中央図書館とのコラボ企画として「朗読と音楽を楽しむ会」を開催し、朗読サークル「こだま」と音楽ユニット「ほーせんか」の皆さまによる朗読と歌、そして楽器演奏を楽しみました。

“夏の訪れ”をテーマとした感情豊かな朗読と、郷愁を誘う歌声に参加された方々もすっかり魅了され、心を和ますくつろぎの時間を過ごすことができました。

出演者の皆さま、ありがとうございました。



「こだま」の皆さん

「ほーせんか」のお二人